



スポーツバイクニュース

対象：中級レベルのメカニック

平成28(2016)年9月30日 Vol. 12

隔月発行

今泉紀夫のMTB診断術—油圧式ディスクブレーキ ～キャリパーのクリーニング～

このMTB診断術は今回で3回目となります。ワークショップモンキーの今泉紀夫さんが、自身の経験に基づいた実際の事例から作成したモデルケースをご紹介します。中級レベルのメカニックを対象に作成しているため、基本的な名称、説明等は省略していますが、ぜひ、日々の作業の参考としてください。

不具合の状況

ブレーキの片効きにより、MTBのリアホイールの回転が悪い

考えられる不具合と対処

このニュースでは Vol.10 と 11 の2回にわたって、MTBの油圧式ディスクブレーキの「ブレーキの効きが悪い」、「異音がある。」という状況への対処について説明しましたが、今回は「ブレーキの片効きにより、MTBのリアホイールの回転が悪い。」という不具合です。一見すると関係がないように思いますが、密接に関連しています。

いろいろな原因が考えられます。まず、キャリパーが汚れているとき、原因を特定するために真っ先に行うべき作業は、「キャリパーをきれいにする。」ことなのです。キャリパーが汚れていると本来の性能を発揮できません。

機械式(メカニカル)ディスクブレーキの場合は、ブレーキパッドが摩耗するとブレーキパッドとディスクローターの間隔が広がってしまうので、ケーブル調整ボルトなどによるクリアランス調整、あるいはインナーケーブルの張り直しが必要になります。

一方、油圧式ディスクブレーキの場合は、自動的にクリアランスの調整を行うので調整不要と思われがちですが、キャリパーが汚れることにより向かい合うピストンの動きが悪くなり、ブレーキが片効きを起こすことがあります。

キャリパーのクリーニングが有効

お客様が油圧式ディスクブレーキの不具合を訴えていてキャリパーが汚れているときには、まず、キャリパーのクリーニングをお勧めしてはどうでしょうか。キャリパーのクリーニングを行うことで不具合が解消し、さらには、不具合箇所が特定できたりします。

同時にディスクローターのクリーニングも可能であれば行いましょう。

キャリパーのクリーニング方法

キャリパーのクリーニングには大きく分けて2つの方法があります。

一つ目は、ブレーキダストの付着が少ない状態であれば、エアガンで吹いただけでも、キャリパーはきれいになることがあります。

二つ目は、容器に入れた水に台所用中性洗剤を混ぜ泡立ててから、キャリパーの外側とブレーキパッドのある内側を洗う方法です。水を使うので場所の確保が必要になります。そして、室内で作業を行うのであれば、その周りが濡れないように養生しなければなりません。

水洗い後にはキャリパーが濡れているので、水分をエアガンでしっかりととばしてください。

なお、水洗いの際はキャリパーをフレームから取り外して作業してください。

ところで、炭化水素系溶剤であるパーツクリーナーは、作業時間を短縮できるので便利ですが、ゴム、プラスチック、塗装面には使用できないのです。このことから、キャリパーへの使用には向いていないのです。ディスクローターのクリーニングには使用可能です。パーツクリーナーが乾いたら、ディスクローターをきれいなウエスなどで拭き取りましょう。



今泉紀夫さんが使用する
台所用中性洗剤



パーツクリーナー
(炭化水素系溶剤)

キャリパーのクリーニング前後

キャリパーのクリーニング前後では見た目からして違いますが、クリーニングを行うことでキャリパーの点検を容易に行うことができ、キャリパー本来の性能が復活します。さらには、ブレーキの片効きが解消し、異音もなくなることがあります。

よくあるブレーキフルード漏れ

キャリパーのクリーニングを行った後は、キャリパーからブレーキフルード(ブレーキオイル)が漏れていないかチェックをしましょう。まずは、キャリパーとブレーキホースの接続部を目でチェックします。次に、キャリパーにスペーサーをセットしたままブレーキレバーをしっかりと握ってください。このとき、キャリパー内部のピストンからブレーキフルードが漏れていないか、よく見て確認してください。ピストンからブレーキフルードが少しずつ染み出ていると、ブレーキパッドが濡れて湿っぽくなるので注意しましょう。さらに、ブレーキレバーとブレーキホースの接続部も目視で確認してください。そして、ブレーキホースの折れもチェックしましょう。



<監修>

ワークショップモンキー 今泉紀夫(いまいずみ のりお)

URL: <http://www.monkey-magic.com/> 住所: 東京都豊島区高田 3-13-6-102

MTBメンテナンス解説書の監修を手掛け、知識と技能は国内トップクラスにある。

オリジナルフレームの開発でも有名。SBM(スポーツバイクメカニック)認定講師

<発行> 一般財団法人自転車産業振興協会 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 4階

電話: 03-6409-6922 FAX: 03-6409-6868

<http://www.jprior.jp>